まちびと

MACHIBITO

春

特集

コロナ新時代を生きる

町田で輝く人に出会うコミュニティマガジン

2021 SPRING TAKE FREE

まちびと
MACHIBITO

2021年　春号

発行日　2021年3月15日

発　行　町田市市民部市民協働推進課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22 町田市役所2階
TEL 042-724-4362

編集部　株式会社タウンニュース社
〒225-0014 神奈川県横浜市青葉区荏田西2-1-3
TEL 045-913-1220

表紙撮影　工藤 剛史

04 特集 コロナ新時代を生きる
ENJOY NEW NORMAL

08 まちだ人
井上 貴覚さん
能楽師

10 つながローカル！
File.13 相原町陽田町会
File.14 社会福祉法人 町田市社会福祉協議会
File.15 NPOコレクティブハウジング社
File.16 一般財団法人 町田市地域活動サポートオフィス

14 まちださんぽ
成瀬尾根～恩田川

16 ご当地美食探訪

18 沢野ひとしの町田絵日記　第４回　町田市自然休暇村に行こう

19 まちスポ　パラ射撃　水田光夏選手

20 てくてく昭和　二人三脚で作る真心込めた一丁 ／ 美濃屋豆腐店

21 マチ活information

22 まちびとプレゼント

まちびとで いいことふくらむまちだ

この冊子は40,000部発行し、1部あたりの単価は70円です
（職員の人件費を含む）

スマホだけでは、守りきれないものがある。

町内会・自治会には、顔の見えるジモトのネットワークがあります。
町田をジモトに。あなたも町内会・自治会に加入しませんか。
加入に関するご案内は、こちらをご覧ください。

町田市町内会・自治会連合会／町田市市民協働推進課

いいことふくらむまちだ

町田高校2年生の数学の授業。生徒がiPadに書き込んだ解答が、黒板に貼ったスクリーンに映し出される

特集

コロナ新時代を生きる

新型コロナウイルスの感染拡大により、一躍脚光を浴びるようになったオンラインサービス。会議、診療、接客など、あらゆる場面でパソコンやタブレットなどを活用した遠隔交流が新たなスタンダードとなりつつある。そのひとつが教育。先進的にＩＣＴ教育に取り組む町田高校、町田第三小学校を取材した。

ｉＰａｄを活用 広がる学びの幅

２０１２年に東京都教育委員会から「都立学校ＩＣＴ活用推進校」の指定を受けるなど、パソコンやプロジェクタを取り入れた授業展開に積極的な町田高校（以下、町高）。大学入学共通テストにデジタル技術を活用する方式「ＣＢＴ」の検討が始まったこともあり、２０１８年度からはすべての生徒と教員にｉＰａｄを導入している。

授業での活用度は教科の特性によりさまざまだが、グラフや３Ｄ地図などで視覚的なわかりやすさが格段に向上。模試の結果と連動させることで弱点を分析しやすくなり、動画教材により事前学習を進める「反転授業」の実施も可能となった。そのほか、海外の高校とのオンライン通信や災害時の帰路確認、委員会の活動報告など、あらゆる場面に活用の幅が広がっている。

生徒の主体性を伸ばし、実践力を育成する町高の特色は、ｉＰａｄの利用にもあらわれる。情報モラルは指導するが、基本的に扱い方は生徒の自由だ。情報科の小原格指導教諭は、「部活動でフォームを確認したり、問題集を撮影して画面に専用ペンで書き消したり。生徒たちは我々の想像を超え、柔軟に使いこなしている」と感心する。

早くからＩＣＴ教育の土壌が整備されていたことで、新型コロナ感染拡大により休校措置がとられた際も遠隔授業への移行がスムーズだった。学習の遅れを軽減できたことはもちろん、オンライン交流により生徒の孤立を防げたことも大きな成果だった。

教科書、ノート、資料、発表ツールなど、さまざまな役割を果たすｉＰａｄ。「今や町高の学習活動に欠かせない」と評価する小原指導教諭は、最後にこう付け加えた。「ただ、機械がすべてを解決できるわけではない。コミュニケーションがあってこそ、初めて学校であると思います」

きめ細やかな教育 進化する学習指導

軽やかにキーボードを叩く音が広がる教室で、担任がノートパソコンを片手に机間指導する。町田第三小学校では、今や当たり前となった風景だ。

４年前からプログラミング教育を推進する同校では２０２０年12月に全児童のノートパソコンを導入。１人１台の端末環境が実現した。各教科での積極的活用を進め、児童がアプリで調査や意見共有を行い、学習課題の解決に取り組む。算数ではＡＩが児童の習熟度に合わせて出題する個別最適化学習にも取り組む。

ＩＣＴの活用により、授業では教員が児童の学習進捗状況を手元のパソコンでリアルタイムで確認し、細やかなケアを実現。採点作業がアプリの活用で短縮され、児童の学習効率や個別指導の充実が図れる。特に、コロナ禍ではオンライン会議や資料共有、オンライン児童集会、授業での共同編集ツールの活用などで効果を発揮。宇田洸希教諭や大迫千昌教諭は「作業等が軽減され、児童と向き合う時間をさらに確保できる」と話す。

野末直美校長は、「ＩＣＴはこれからの時代、児童にとって日常的な学習アイテム。主体的・対話的な学びを通して、考えを深める力を育んでいきたい」と、さらに活用の幅を広げていく構えだ。

パソコンとノートを駆使しながら勉強に励む

町田第三小学校の個別最適化学習を取り入れた算数の授業風景

お店の味を自宅でも、お花見でも！

「#町田エール飯」でテイクアウトグルメ

コロナ禍で自粛する飲食店を応援しようと、店や市民が撮影したテイクアウトグルメをSNSに「#エール飯」を付けて投稿する別府市発祥の文化が町田市にも広がっている。町田版の発起人は「まちだはまちだプロジェクト」の4人。近隣の飲食店の窮状を知ったのをきっかけにイラストレーター・本田亮さんにアマビエのイラスト提供を経て昨年4月11日に潜水艦のカレーを投稿すると、「#町田エール飯」は瞬く間に広がった。3月1日現在で、インスタグラムには3065件のグルメ写真がずらり。メンバーの塚原結友さんは「お店の情報を一元化できた」と喜ぶ。「#町田エール飯」で素敵なグルメを見つけて、お花見を楽しんでみてはいかが。

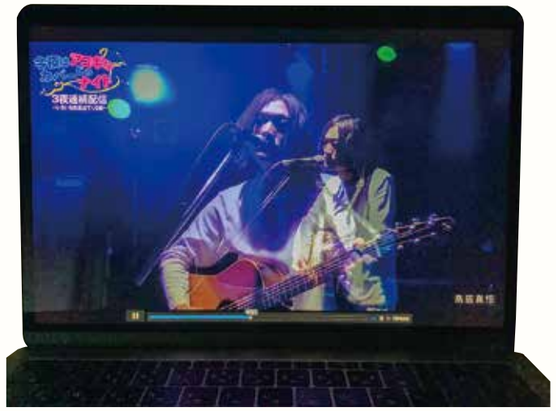
「かけ橋になれて良かった」と話す塚原さん

お茶の間でライブを楽しむ！

未知の世界をのぞいてみよう

店長の山本勇二さん

昨年3月、中町の老舗ライブハウス「The Play House」には新型コロナウイルス感染拡大で出演取消の電話が相次いだ。経営危機に陥り、藁をもつかむ思いで始めたクラウドファンディング。すると、かつてここを拠点としていたLUNA SEAなどのファンも支援に乗り出し、早々に目標額を達成した。「皆の気持ちに報いたい」。配信ライブは、そんな感謝から始まったものだ。バンドや弾き語りなどジャンルの異なるアーティストが共演するのも、ネット配信ならでは。「ライブハウスに縁がなかった方も、家で気軽に楽しんでほしい」と店長の山本勇二さん。専用機材による動画はテレビ番組さながらで、出演することにも価値がありそう。



配信ライブは右記から　町田　プレイハウス　検索
The Play House ☎042-851-8311 町田市中町1-18-15-1F

地産地消、新スタイルで楽しもう

密を避けた非対面の販売で地産地消を後押ししているのが、生鮮食品EC「クックパッドマート」の宅配ボックス「マートステーション」だ。町田市と連携して市内10カ所にステーションを設置、JA町田市が共同集荷場を運営する。消費者がオンラインで注文すると、生産者が集荷場に青果を届け、指定のステーションに納品される仕組みだ。生産者の中溝章雄さんは「直売所も盛況だが、さらなる販路として期待できそう」と話す。町田の農業は少量多品目栽培が特徴で、町田ならではの品種を購入できるといった楽しみ方も今後、見込めそうだ。

クックパッドマート公式サイト　https://cookpad-mart.com/

ステーションは町田市民ホールや総合体育館などに置かれている

JA町田市の直売所「アグリハウス鶴川」にある共同集荷場

ENJOY NEW NORMAL

コロナ禍でも毎日を楽しもう

コロナ禍でもほのぼのとした雰囲気を作り、子どもたちの不安や緊張を和らげたい――。そんな思いで八昭印刷株式会社が開発した「ユニークフェイスシールド」。ネコやひげの絵柄が印刷されたもので、「医療や保育などの現場で大人に活用してもらおうと考えていた」と発案者の森れい子さん。そのかわいらしいデザインから「子ども用に」という注文も増え、「これを着けて会いに来て」と孫に贈る高齢者も多いとか。上村豊社長は、「マスクと併用し、少しでも世の中を明るくできたら」と期待する。オリジナルデザインのオーダーメイドも可能。

開発者の森さん（左）と上村社長

フェイスシールドで へ～んしん！

注文は下記から
ユニプリショップ　検索　（運営：八昭印刷㈱）
八昭印刷㈱ ☎042-725-8821 町田市玉川学園7-10-27

「首かけマスク」でストレス解消

輸入雑貨などを扱うTRYL（トライル）＝本社・つくし野＝は昨年10月、「ネックデザインマスク」の販売をスタートした。ストラップが取り付けられ、外したマスクを首にかけておける仕組み。飲食などの際に置き場に困る不便が解消されると話題になり、すでに1万枚近くを出荷したという。同社の福原正之社長は「マスク市場は飽和状態でしたが、コロナ禍のストレスを解消するお手伝いがしたかった」と話す。速乾性・通気性の高いドライテックの素材を採用し、「夏場はより快適に使っていただけそう」。TRYL の直営オンラインストア（https://trylplus.com/?pid=154493075）で販売中。

株式会社TRYL ☎042-706-1355 町田市つくし野1-28-6 http://trylplus.com/

買い物に行かなくて済むよ！

プランターで野菜づくり

注意点は水をやり過ぎないこと。そして、連作障害を起こすため1回使った土は使わないこと。たい肥や肥料は作物の根に直接触れないように。

用意するもの
- プランター（何をつくるかで大きさが変わります）
- 野菜用の土（培養土）
- たい肥や肥料（少量でOK）
- 野菜苗または種

春から植え付ける野菜
- ピーマン
- ミニトマト
- オクラ
- シシトウ
- キュウリ
- リーフレタス
- ニガウリ
- トウガラシ
- エダマメ
- ハーブ
- ナス
- ゴーヤ
- トウモロコシ

農作業受託ネットワーク
NPO法人 たがやす
事務局長 斉藤 恵美子さん

まちだ人　能楽師

井上貴覚

能楽最古の流儀、金春流の能楽師である井上貴覚さんは昨年、40代で国の重要無形文化財（総合）に認定された。世界に誇る日本の舞台芸術を背負う人材として活躍している。

日本人の美意識 舞台で表現

室町時代の観阿弥・世阿弥が舞台芸術に昇華させ、650年にわたり継承されてきた能楽の世界。「長い時間をかけて紡がれ、洗練された日本人の美意識があふれている」と井上さん。「鑑賞だけでなく習い事としても親しんでもらいたい」と能の普及にも意欲的だ。

• • •

大学受験を控えていた17歳の冬、図書館の棚から何気なく能楽の本を手に取ったことが全ての始まり。何冊か読み重ねるうち、日本文化や伝統技能に漠然と抱いていた憧れが、鮮やかな輪郭を帯び始めた。本で知った能楽最古の流儀、金春流のシテ方になりたいと考えたのだ。

思春期のまっすぐな行動力はすさまじい。著者の住所を電話帳から探し当て、能楽師になりたいと手紙につづった。「一度、舞台をご覧なさい」と返事が届き、公演の招待券が添えられていた。初めて観る舞台に息を飲み、今度は演者の住所を聞いて手紙を書いた。それならと自宅に招いてくれたのが、後の師匠で金春流能楽師の仙田理芳さん。

「親御さんに話をしてからもう一度来なさいと師匠に言われた。能楽師になると両親に打ち明けると、大学には行けと猛反対。でも夜学に通うことを条件に入門を許してくれた」と話す。能楽研究で有名な法政大学文学部に入学したのと同時に入門、内弟子となり夜学に通いながらの修業が始まった。

• • •

シテ方は謡（うたい）と舞を担当する舞台の主役で、いくつかの流儀が存在する。金春流のシテ方を目指したのは「最も歴史が古く、能の原点と言える流儀で、素朴にして雄渾（ゆうこん）な芸風。華やかな京の風景より、奈良、飛鳥のような素朴な原風景を感じたから」。

1990年の入門から、94年に↙演目「江口」で初舞台を踏み、96年に「箙」（えびら）で初シテを勤めた。秘曲とされる「獅子」「乱」「道成寺」「翁」を舞い、同流儀の若手能楽師4人で同人「座・SQUARE」を結成するなど、次世代の旗手として注目されている。

「箙」を舞う井上さん（撮影・辻井清一郎）

金春流の「謡本」。古典文学などを題材とした全171演目がある

愛用の能面を見せる

井上 貴覚 Yoshiaki Inoue

1971年2月22日生まれ（50歳）。19歳で入門し、現在は公益社団法人金春円満井会の理事を務める。2020年に国重要無形文化財（総合）認定。まちだの寺子屋の教室に関する問い合わせは☎042・799・7966（9時～21時）✉yoshiaki1971222@yahoo.co.jp

• • •

転勤族の父を持ち、多感な少年時代の数年を奈良県橿原（かしはら）市で過ごした。「程よい田舎が性にあって良い思い出ばかり。古墳や古利が身近にあり、日本固有の歴史や文化への興味もここで育まれたのかもしれません」と話す。妻の出身地である町田市には99年から在住。「坂を登っていく先に空が広がり、遠くに山の景色が見える。そんな環境がある町田市が妙に落ち着くんです」とお気に入りの様子だ。

町田市民文学館で例年1月、「はじめてのお能体験教室」を担当（今年は新型コロナの影響で中止）。能面や楽器を持ち込み、謡や仕舞（しまい）を体験してもらう企画だ。「文学館という場所ですので、謡本（うたいぼん）／謡われる言葉と節付の記号を記した稽古本）を朗読するところから始め、音楽にのせた時の言葉の響き、そして言葉を動きで表現することで、表現がどんどん広がるということを伝えたかった」と語る。

昨秋から高ヶ坂の祥雲寺で「まちだの寺子屋 謡・仕舞教室」もスタートした。公演の合間に毎月2回開講している。「能楽の世界は敷居が高そうで実はそうではありません。興味のきっかけは、能の装束、能面の彫刻、和の音楽など何でも構いません。謡本を文学作品として読んでもいい。習い事としてお稽古が進めば、国立能楽堂での発表会で舞台にも立てる。日本の美の奥行を能を通じて楽しんでほしい」と目を細めていた。

つながローカル! File.13

相原町陽田町会

災害時、100台×4日間のスマホ充電可能

町内会に所属するメリットを打ち出すことで続出する退会者に歯止めを掛けようと、相原町陽田町会では2019年9月、災害時に一度に100台のスマートフォンを4日間充電できる体制を整えた。

★

相原地区連合町内会に属する相原町陽田町会。会員数の減少は顕著で、2009年の370世帯から10年程で300世帯に減少した。この問題を解決しようと立ち上がったのが2019年度の会長に就任した原義浩さんだ。

「なぜ退会者が続出するのか」―。精密機器の研究開発の経験も持つ原さんは、要因の分析から着手。会員にヒアリングすると、町会に所属するメリットが住民へ明確ではないこと、役員業務の負担が大きいことが浮かび上がった。

だが、具体的な解決策が思いつかない。そんなある日、原さんは災害時にスマホの充電を求めて避難所に長蛇の列ができたニュースを目にして、膝を打った。情報収集や連絡手段などに使えるスマホは最重要なインフラだが、1日で充電が切れてしまう。災害時にライフラインが寸断された中では充電ができない。「スマホ充電設備を整えれば、幅広い世代に町会に所属するメリットが明確となり、退会者増に歯止めを掛けられる」

早速、原さんは懇意にするJA町田市堺支店のスタッフに相談し、全国から発電機の情報収集に奔走。女性一人でも持ち運びが可能で、カセットガスを装着するのみと取扱いも容易なことから、ホンダ社製の発電機2台の導入を決めた。また、町会内の自主防災隊が発電機のメンテナンスを担うことで役員の負担を軽減した。原さんは、「JA町田市の迅速な対応と、縁の下の力持ちの自主防災隊が無ければ実現できなかった」と振り返る。こうして導入された発電機は、会員にも好意的に受け止められた。実際に退会を考えていた会員に原さんが取組を説明すると、考えを変えた人もいた。

現在は、原さんからのバトンを井上春雄会長が引き継ぎ、災害時にトイレや飲み水として不足しがちな水の確保に取り組む。地域住民のニーズを的確に捉え、町会に所属することで得られるメリットを分かりやすく伝えている相原町陽田町会。井上会長は「町会に中長期的には若い世代にも参加してもらえるように間口を広げていきたい」と話している。

カセットガス2本で発電できる

一人でも簡単に起動が可能

導入された2台の発電機

原前会長(左)と井上会長

つながローカル! File.14

社会福祉法人 町田市社会福祉協議会

協働の輪広げ、まちに元気

「誰もが安心してしあわせに暮らせるまちづくり」をすすめるために、地域住民やボランティア、町内会・自治会、福祉施設、企業、行政などさまざまな団体や個人と協働で地域福祉の向上に取り組んでいるのが、社会福祉法人 町田市社会福祉協議会（以下「町田市社協」）だ。

★

1958年に設立され、60年以上にわたって町田市の地域福祉とともに歩んできた町田市社協。その事業は高齢者・障がい者の権利擁護・成年後見事業、子ども・子育て家庭へのサポート事業、学童保育クラブ、さらに広報紙やホームページでの情報発信まで多岐にわたる。「社協だけでできることはそう多くはありません。だからこそ地域の人や団体など関係各機関と連携して取り組んでいくことが大切。そんな協働の中で社協としての役割を果たしていければ」と話すのは、町田市社協地域福祉課課長の井藤親子さん。

2013年度から市内各地で行われている「親子でヤキイモプロジェクト」では毎回多くの地域の人たちが参加。地域の人たちが自ら企画し子どもからお年寄りまで世代を超えた交流を図ることで、顔の見えるつながりづくりのきっかけとなっている。

時代の流れなのか、以前は電話だった子どもの相談事業を、2009年に子どもたちの悩みにホームページ上で答えるこころのナビゲーション「ここなび」に切り替えた。ここなびには元先生、心理カウンセラー、元民生委員、市民ボランティアなどが協力。学校や友だち、家族、恋愛などの悩みを受け付け、回答者によって視点の違うアドバイスが掲載されるユニークな事業となっている。

ひとり親世帯への支援としてボランティアが月2回お弁当を配る「おうちでごはん事業」、コロナ禍の中、昨年10月からは「フードバンク事業」もスタートした。また、現在、ボランティアが福祉施設を訪問するのは困難なことから、施設との間をリモートで結び、利用者への傾聴や一緒に体操などを行う新しいコミュニケーションの方法も取り入れ始めた。井藤課長は「地域には生活の困りごとはたくさんある。地域の皆さんと力を合わせてサポートができれば。同時に、助けが必要な人を支援している人たちや団体を応援していきたい」と話す。

■社会福祉法人 町田市社会福祉協議会 ☎042・722・4898
https://www.machida-shakyo.or.jp

親子でヤキイモプロジェクト（2020年度は中止）

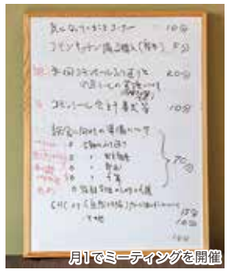
さまざまな相談に対応

「おうちでごはん」の配達ボランティア

地域福祉課のスタッフ

コモンルームで楽しそうに語り合う居住者ら

プロ仕様の共用キッチン


月1でミーティングを開催

皆で育てる野菜は収穫も自由

NPOコレクティブハウジング社

つながローカル! File.15

一つ屋根の下、ゆるやかにつながる

1970年代に北欧で発祥した「コレクティブハウス」。若年層から熟年層、子育て真っ盛りのファミリーや単身者など、血縁関係のない「多世代」「多世帯」が専用住居でともに暮らすライフスタイルだ。近年はアメリカを筆頭に世界中に拡大。国内でも数を増やすハウスが昨春、市内で初めて本町田に誕生した。

★

テレビ番組の影響もあって広く知られる「シェアハウス」との大きな違いは、それぞれの住居スペースが独立した形であること。バスやトイレ、キッチンなど生活に必要な機能はすべて各部屋にそろう。すなわち、プライベート空間はしっかりと確保されたうえで、他の居住者たちと生活の一部を分担するのがハウス流の暮らし方だ。

そのひとつが「コモンミール」。業務用の大きなオーブンもある共用キッチンで、その日の当番が中心となって皆のために作る食事のことだ。料理好きはここぞとばかりに腕を振るい、高齢者は実家が恋しくなるようなお袋の味、苦手な人が四苦八苦して作った料理もご愛嬌。仕事などの状況に応じて食べる時間や場所は自由だが、皆で食卓を囲むひとときはハウスの暮らしを象徴するワンシーンでもある。

居住者同士の話し合いで決める共同運営の内容は、ガーデニングや家庭菜園、清掃、バーベキューなど、試行錯誤を繰り返しながら皆にとって快適な暮らしを見出していく。

そんな日々を通じて生まれるのは、ゆるやかな人間関係。泣いている赤ちゃんがいれば大人たちが代わるがわる抱っこしたり、共用スペースで遊ぶ子どもたちを高齢者がにこやかに見守っていたり。ご近所付き合いが希薄化している昨今、顔見知りに囲まれて暮らすハウスには古き良き日本を彷彿とさせる助け合いの精神がある。

「生活の一部をともにすることで生まれる人と人のつながりは、あらゆる世代にとって他の機会では得難いもの」と語るのは、運営をコーディネートするNPOコレクティブハウジング社の狩野三枝さんと矢田浩明さん。〝孤独死〟や〝孤育て〟など、少子高齢化にまつわる社会課題解決の一手として多くの注目を集めている。

■NPOコレクティブハウジング社 ☎080・6660・1143（事務局）

一般財団法人 町田市地域活動サポートオフィス

つながローカル! File.16

地域で活動する団体の良き「伴走者」

町田市の中ではさまざまなNPO法人や市民団体、地域団体が活動している。一般財団法人 町田市地域活動サポートオフィスは、まちの困りごとや課題の解決のために日々取り組んでいるさまざまな団体に寄り添い、伴走支援を続けている。

★

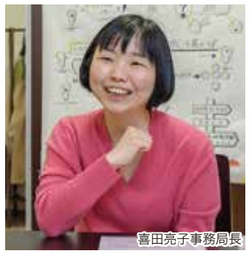
サポートオフィスには、つくる（立ち上げ支援）、ささえる（経営支援）、つなげる（協働支援）、かえる（変革支援）の4つのミッションが掲げられている。「地域でこんな活動をしたい。でもどうしたら良いのか分からない」といった会の立ち上げから運営ノウハウのアドバイス、団体と団体の協働支援など、その仕事は多方面にわたる。「私たちが主導するのではありません。それぞれの人や団体が主体的に動いていけるようにお手伝いするのがサポートオフィスの仕事です。私たちは常に良き伴走者として寄り添っていきます」と事務局長の喜田亮子さんは話す。

昨年は市内のNPOや市民団体、地域団体が一堂に会する第14回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」の事務局を務めた。コロナ禍で開催が危ぶまれる中、オンライン・市内分散開催という新しい開催方法にも挑戦した。まず実行委員会にオンラインによるリモート会議を導入。当初は慣れない人もいたが、「オンラインツールの活用法が学べた」といった成果にもつながった。これまでの「まちカフェ！」は1日の開催だったが、期間を10日間にして3密を回避。地域活動への関心を高めてもらおうと、それぞれの分野の活動や内容についてのオンラインセミナーやワークショップ、展示などを行った。33団体がイベントを開催し、約500人が参加。ボランティアの学生が「学生おうえん隊」として団体の企画に参加するといった新しい試みも行った。団体同士の協働も進み、サポートオフィスのミッションである「ささえる」、「つなげる」が実践できたといえるだろう。

喜田事務局長は「地域や社会の問題はさまざま。一つの団体ではできないことも連携することで解決策がみつかることも。そんな団体の接着剤のような役割を果たしていければ。ぜひ一歩を踏み出してほしい」と話した。

■一般財団法人 町田市地域活動サポートオフィス ☎042・785・4871 https://machida-support.or.jp

サポートオフィスのスタッフ


喜田亮子事務局長

事業計画をつくる講座「まちだづくりカレッジ」

相談を受けるスタッフ

まちださんぽ

成瀬尾根（なるせおね）～恩田川（おんだがわ）

「フットパス」は、森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からある、ありのままの風景を楽しみながら歩くことをいいます。普段の生活ではなかなか見られない町田の別の顔もお楽しみください。

監修：NPO法人みどりのゆび

町田市と横浜市と市境にある成瀬尾根は、住宅街の中とは思えないほどの貴重な自然が残っています。地名の「成瀬」には「恩田川の轟音が鳴り響くところ」「平安後期から鎌倉時代に武藤七党横山党の鳴瀬四郎太郎の居城があった」などに由来するとされています。1967年のこどもの国駅開業、1979年の成瀬駅開業から宅地開発が活発化し現在のような住宅地が広がりましたが、成瀬尾根は開発から守られ、今は「成瀬の自然を守る会」が中心となって保全活動に取組んでいます。春の透き通るような青空の下、成瀬尾根の木々の緑と恩田川に咲きほこる薄紅色の桜の中に身を委ねてみてはいかがが。

Ⓐ成瀬尾根

成瀬尾根1号緑地、成瀬尾根2号緑地、成瀬奈良谷戸公園及び緑地、成瀬山吹特別緑地保全地区が続く1.5km・7.4haの市営緑地。2014年には町田市景観大賞を受賞しており、木々にかけられた木札をみながら、まるで山に分け入ったかのような感覚を楽しめます。

ウエストヴィラージュ

「自分で作って自分で売る」をモットーに、一つ一つのパンを心を込めて焼き上げています。オススメは、小麦粉と水だけで練り上げた卵・バター・牛乳・砂糖不使用のフランスの田舎風パン「リュスティック」。素材本来の味と香りを感じられる一品です。

■営業　5：00～18：30
（売切次第終了）
休月曜　🏠南成瀬5-3-6
☎042-785-5868

リュスティック 大432円（税込）
小130円（税込）

Ⓒ恩田川遊歩道

町田市内の本町田・南大谷・高ヶ坂・成瀬を流れる鶴見川の支流で、遊歩道には1年を通じてウォーキングやジョギングを楽しむ市民で賑わっています。高瀬橋から都橋にかけての川沿いには400本のソメイヨシノが並び、市の春の名物「町田さくらまつり」ではメイン会場のひとつです。

撮影者 マロモモ（2020愛するまちだフォトコンテスト受賞作品）

Ⓑ曹洞宗 龍谷山東雲寺

1500年代初頭に寺が開かれ、1631年に今の場所に移転して以来、「仏教講座」などを通して仏の教えを伝えています。桜の名所でも知られ、ソメイヨシノやジンダイアケボノ、河津桜、八重桜など計100本以上が咲きほこります。
※一部、サクラの植替え中。
🏠成瀬4-14-1　☎042-726-5909

【成瀬尾根～恩田川を歩く心得】

成瀬尾根の美しい景観は、「成瀬の自然を守る会」を中心とした保全活動によって支えられています。ピクニックなどでは近くに住居があることを理解して騒音は控え、出したゴミはきちんと持ち帰りましょう。

※本地図は概略です。実際の道路状況やルートは事前にご確認ください。
※監修するNPO法人みどりのゆびが発行する『まちだフットパスガイドブック』は、久美堂や啓文堂で販売されています。

恩田川の桜スナップショット

高瀬橋付近の桜

都橋から続く桜並木の終点。都橋から高瀬橋までは約2.1㎞で徒歩で30分ほど。

2 会下山橋付近の桜

近くには城山公園があり、中には成瀬城跡と井戸跡があります。

3 成瀬中央橋付近の夜桜

ここからJR横浜線成瀬駅まで徒歩7分ほどです。

撮影者 nao29

（提供：町田市観光コンベンション協会）

コースガイド

約5.6㎞・約2時間30分コース

❶東急こどもの国駅からスタート。改札口を背に左手方向に進み、スーパー三和を左手に見ながらこどもの国駅入口交差点を渡る

❷ゆるい坂道の途中にある階段を上がると、そこが成瀬尾根。はじめは住宅の裏を行くようだが歩を進める

❸道は突き当たるが、左方向に成瀬尾根の続きがある。緩急の少ないコースなので木々を観察しながらのんびり歩ける

❹成瀬尾根トンネルの上を越え、雑木林をどんどん進む。マムシやスズメバチに気を付けて

❺風の広場や昔ながらの里山風景、ビュースポットの成瀬山吹緑地を堪能したら、雑木林沿いの道路を進んでいく

❻突き当たりの階段を降り、道なりに進む ※階段が見つけにくいので注意

❼慎重に坂を降ると、正面に「髪の駅ぷれいす」が見え、成瀬街道に出る。ここを右折する

❽南二小東交差点を横断し、直進すると吹上橋に到着

❾吹上橋から恩田川の桜を見上げながら遊歩道を行脚する。途中でカワセミが見られるかも

❿休憩を挟みながら桜のアーチを潜ると高瀬橋に到着する

注意事項：東急こどもの国駅行きの直通バスは高瀬橋付近からはありません。事前に帰宅手段を調べてから歩きましょう。

【ゴール付近のバス停情報】

高瀬橋

●高瀬橋～町田バスセンターまたは
高瀬橋～青葉台駅・長津田駅北口

町田産グルメを堪能しよう！

ご当地美食探訪

地場農産物を使った料理をはじめ、
町田市ゆかりのご当地グルメを紹介します。
地元の魅力の詰まった「ごちそう」を店で味わってみてください。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から営業日や営業時間が変更されている場合があります。
最新情報は事前に各店舗に直接、お問い合わせ下さい。

産直野菜で作る栄養満点スムージー

やさいのナイトウ 66 kitchen

町田シルクメロンスムージー　400円(税込)
独逸屋コラボスープ　350円(税込)

やさいのナイトウ隣のジューススタンド「66 kitchen」では、八百屋ならではのジュースやスープが楽しめる。「町田シルクメロンスムージー」は芳醇な香りと甘さを凝縮。「独逸屋コラボスープ」は独逸屋の名品と細野農園の町田産ほうれん草のニョッキで野菜の新たな可能性を発見する逸品だ。

専務の若月さん

町田市成瀬2-15-4
042-732-9070
10：00～17：00
無休

町田の蓮の実をつかった上品なケーキ

町田市大賀藕絲館（おおがぐうしかん）

障がい者の支援事業を行っている下小山田にある町田市大賀藕絲館。ここでは小山田の蓮田で採れた蓮の実からペーストを作り、町田産の卵を使って、しっとり深みのある「蓮REN ～ハスの実ケーキ～」が人気。ほかにもジャムやシフォンケーキ、手芸品なども販売されている。

施設長の清水さん

町田市下小山田町3267
042-797-1616
10：00～16：00（売店）
土曜・日曜・祝祭日休館

蓮（REN）～ハスの実ケーキ～ 1個250円(税込)と手作りジャム

手打ちそばとサクサク天ぷらが絶品

蕎麦 はるき

町田産野菜のサクサク天ぷらと北海道十勝産のそば粉を使った手打ちそばが人気の名店。日本酒にもこだわる店主の瀬田さんがおすすめするお酒に締めのそばはまさに至福のひと時。週末の金・土曜は十割そばも提供。テイクアウトメニューも用意されている。

店主の瀬田さん

町田市原町田4-16-16
042-721-3535
11：30～14：00
17：00～23：00
日曜定休

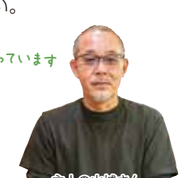
天もり 1,800円(税込)
プラス400円で海老天1本追加OK

豊富なメニューに目移りしちゃう

らーめん武蔵堂 大戸本店

柚子胡椒つけ麺　並 800円　中 900円　大 950円(すべて税込)

とんこつとトリガラの“二刀流”による王道から創作麺まで豊富なメニューから選べる。「柚子胡椒つけ麺」は、町田産柚子と井上麹店の麹を使った柚子胡椒をスープにブレンド。すする度に口いっぱいに柚子の香りが広がり、〆のご飯まで箸が止まらない。



主人の山城さん

町田市相原町3155-7
042-782-5390
11：30～20：30
月曜定休
https://musashidou.favy.jp/

体の中から元気になるカレー

ベジフルスパイス

スペシャル ベジフルカレー 1,650円(税込)
(セルフでとり分けるサラダとおかわりができる野菜のおかずがついています)
肉なしカレーのオーダーも OK

ラーメン職人だったオーナーの野津理恵さんが体の中から元気になってもらおうと、たどりついたのがカレーだった。町田産の旬の野菜などが12～15種類入った自慢のスペシャルベジフルカレーは水やお米にもこだわり、サラダやおかずもついて女性に大人気だ。

町田市原町田3-1-4 町田ターミナルビル2F
080-6888-0831
11:30～15:30（火曜～日曜）
18:00～21:00（金曜・土曜）
月曜定休（祝日の場合は営業、振休はなし）材料が無くなり次第終了となる場合があります。

沢野ひとしの

町田絵日記

第4回　町田市自然休暇村に行こう

長野県川上村の町田市自然休暇村に、我が家は年に2〜3回、多い時は5〜6回と頻繁に出かけている。

標高1500mの高原の凛とした空気、抜けるような青い空はいつも新鮮な気持ちに生き返らせてくれる。孫4人と一族郎党10名、なにかとこの数年はご迷惑をかけてきた。

ここの施設の良さは、なによりもゆったりとした部屋。広いロビー、岩に囲まれた大浴場、そして最高の持て成しの四季の料理。とまどいを感じるほど安い宿泊料金。

これまでホテルやペンションに泊まってきたが、自然休暇村が一番落ち着き和めるのであった。こうした公共宿泊施設は、時に規則に頑固で融通が利かない所がある。だが、働いている人がみんな親切で温かい接し方をしてくれる。不満な点や、一度も窮屈に思ったことはない。

星が綺麗に見える土地だからか、ドームの天体観測棟があり、小学生の孫はここで大型望遠鏡で覗いた星に興奮していた。あるいは夏のイワナ掴み、水晶探し、幻の滝めぐり、宿の裏にいる川上犬への挨拶と、子どもたちも飽きることはない。

車で20分ほど走ると小川山。廻り目平のキャンプ場に着く。ここは日本一というほどのロケーション。焚火が可能で、岩登りの初心者から上級者向けの難度の高い岩場までとクライミング天国である。私にとって40年近く、呆れるほど通ったキャンプ場である。

元気な頃はロープを肩に一日中岩にしがみ付き、手に力が入り過ぎて夕食の時に箸が持てないほどであった。やがて齢をかさねてくると、木漏れ日の下で音楽や読書にと楽しみ方も穏やかになってきた。

思い出すと、このキャンプ場で共に過ごした山仲間の何人かはすでに鬼籍に入り、見上げる青空が寂しく思える時がままある。

車がなくとも、小海線の信濃川上駅で下車すれば送迎バスが往復してくれるのも助かる。

いつも喧嘩が絶えない夫婦だが、自然休暇村に行くと争いごともめっきり少なくなり、幸せな日々が流れていく。

早いもので孫たちがもうすぐ中学生になる。そうなると、老夫婦と一緒に来ることも僅かになってくる。やがて彼らが大人になっても、川上村の青い空と、町田市自然休暇村はいつまでも絶対残してほしい。

■文・イラスト：沢野ひとし（さわのひとし）

町田市在住。著書に「中国銀河鉄道の旅」「人生のことはすべて山に学んだ」「ジジイの片づけ」などがある。第22回講談社出版文化賞さしえ賞受賞。新刊に思い出の旅をつづった「真夏の刺身弁当」（産業編集センター／3月15日発売）。

町田のアスリートを応援！

まちスポ

水田光夏選手

0.5mmの標的の中心を狙うというのは、「10m先に置いた5円玉の穴の中心」を撃ち抜くのと同じイメージです。

パラ射撃　水田光夏（みか）選手

射撃ってどんな競技？

標的のど真ん中を撃つと何点？

10.9点です。そこから0.25mmずれるごとに0.1点ずつ減点されます。

使うのは実弾？

鉛弾です。空気銃は圧縮空気、火薬銃は火薬を用いて弾を飛ばします。

標的までの距離は？

ライフルは10m・50m、ピストルは10m・25m・50mと種目により異なります。

私はライフルの10mです。

競技の難しさは？

撃つ際に微動だにしない安定姿勢を保つこと、そして、それを何度も繰り返さなければならないことです。

2019年7月、クロアチアで開催されたワールドカップに出場した水田選手

狙うは0・5㎜のド真ん中

標的の中心の円は実に直径0・5㎜で、呼吸や心臓の鼓動すらも結果を左右する射撃競技。この強靭なメンタルが要求されるスポーツで、東京パラリンピックの出場権を獲得した町田市出身のアスリートがいる。白寿生科学研究所に所属する水田光夏選手だ。

難病のシャルコー・マリー・トゥース病と診断されたのは、中学2年の春。手足の筋力低下などを伴う神経疾患で、やがて車いす生活となり、ペンを握ることも難しくなっていった。

そんな折、母の勧めで参加したパラリンピアンの集会。初めて射撃を知り、未知の世界に興味を抱いて一歩を踏み出した。はじめこそ「遊びの感覚だった」と明かすが、19歳で本格的に始めると才能は開花。国内外で活躍し、パラリンピック出場内定を勝ち取った。

専門は10m先の標的を狙い、60分間で60発撃つ種目。試合直前まで好きなKポップを聴き、平常心を保つ。余計な力が入れば銃口がぶれることも、「自分と向き合える時間」と楽しみに変えてしまうタフな精神の持ち主だ。

パラリンピックでの目標は「自己ベストの更新」。競技人口が少ない女性や若者に射撃の魅力をPRするためにも、全集中で試合に挑む。

■問い合わせ　水田選手の情報発信中。インスタグラム @_mi.u_u.ka_ ／ツイッター @mi_u_u_ka

あの日の残り香を探して…

てくてく昭和

二人三脚で作る真心込めた一丁

美濃屋豆腐店

町田で53年、二人きりでコツコツと豆腐づくりに励んできた曽根さん夫妻

まだ辺りが暗い早朝、美濃屋豆腐店にぽつんと明かりが灯る。店主の曽根見さん（81）がガラガラと茶の間の引き戸を開けて作業場に降り、年季の入ったラジカセのスイッチを押せば仕込み開始の合図。大好きなジャズをBGMに、60年近く連れ添う妻の八枝子さん（78）との豆腐作りが始まる。

墨田区でせんべい屋を営む家に生まれた見さん。家業は兄が継いだが、商人になりたいという夢を捨て切れず、中学卒業後に麻布の豆腐屋へ奉公に出た。下積み時代は午前2時に起き、薪割りに汗を流す日々。住み込みでありながらも懸命に仕事に打ち込んだ。

約3年が過ぎた頃、都内の呉服屋で奉公していた八枝子さんと婚約。まもなく、藤沢市の借家で店を開くことも決まった。あちこちに〝町のお豆腐屋さん〟が存在した時代。「一番の新参者」として縄張りを荒らさぬよう遠くまで行商に出かけ、少しずつお得意さんを増やしていった苦労も良い思い出だ。

一男一女に恵まれ、1968年に店舗兼住宅を購入したのを機に現在の地へ。豆腐のイロハを教わった奉公先に店名を頂き、美濃屋が誕生した。見知らぬ土地でも、商店会仲間に助けられて滑り出しは順調。大晦日ともなれば、おせち料理やすき焼き用に買い求める客がひっきりなしに訪れ、手伝いに子どもたちを駆り出すほど盛況だった。

あれから半世紀。「どこのスーパーでも買えるんだから仕方ない」。全盛期には毎日200丁を作っていたが、今はその4分の1に減った。売り上げも同様。心配する周囲から値上げを提案されるが、「1丁120円」は変わらない。「ボケずに働けて、ご飯を食べられたらそれでいいかな」

豆腐を冷やす5℃の水に赤く手を腫らし、地道に、謙虚に励んできた二人。美濃屋の豆腐はずっしりと重く、味も濃い。「食べたら分かってもらえると思うんだけど」と晃さん。八枝子さんは、「おいしかった」と言葉を客にかけられると、「んまぁ〜、お父さんにも言ってあげて」と心底嬉しそうだ。

午後4時。晃さんは「商人は売れることが一番」と、相棒の真鍮製ラッパを手に軽トラで行商へ出かけて行った。

町田市本町田3205　☎042-726-8285　営10:00〜18:00　日曜・祝日定休

マチ活 information

1 地域活動の対話で役立つコミュニケーションカード作り

相原町を中心に活動する学生団体「へりぽーと」が4月18日（日）、「ファシリテーターの天国と地獄」編と題し、ファシリテーターが地域活動の場で対話を盛り上げるのに役立つコミュニケーションカード作りのワークショップを開催。午後2時〜4時、場所未定。参加費500円（カード代込み）で先着10人。詳細・申込はhttps://fb.me/e/3r61vnrHSへ。

2 シニアによるシニアのためのスマホ・タブレット講座

シニアのITアドバイザーが設立したNPO法人アクティブSITAでは、シニア初心者向けの「スマホ・タブレット講座」を奇数月に定期開催しています。次回「Android編」は5月7日（金）、14日（金）、21日（金）、28日（金）の全4回。せりがや会館（予定）で午後1時30分〜4時30分、受講料4,200円（テキスト代1,000円を含む）。詳細・申込は080-6543-6135（川上さん）、http://active-sita.comへ。

3 「親の終活」を考えるオンラインセミナー

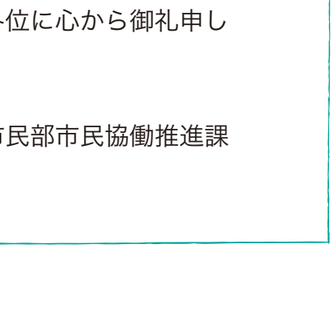
認定NPO法人エンディングセンターは5月22日（土）、オンラインセミナー「親の終活 子は何をすればいい？」を開催します。「Zoom」で午後1時30分〜3時。講師は同センターの井上治代理事長。参加費無料。定員20名。申込はinfo@endingcenter.comへ。

4 シニアのスマホ活用をお手伝いオンラインサポーター募集中！

「オンラインサポーターまちだ」では、シニアが安心してネットを利用し、自立して心豊かに生活し続けられるよう、スマホやタブレットなどの使い方を支援するボランティア「まちだのオンラインサポーター」を募集しています。サポーターのためのセミナーも開催予定です。問い合わせは下記二次元バーコードからLINE公式アカウントに登録。担当は同会代表の清水静香さん。

5 ファミリー応援マガジン『らぶ♡ふぁみ』最新号

町田ママが作るファミリーのための応援マガジン『らぶ♡ふぁみ』の最新号が3月15日に発行します。今回の特集は「子どもと食べたい町田のおいしいパン屋さん」。町田駅周辺商業施設の授乳室やぽっぽ町田、健康福祉会館等に設置予定です。その他の設置先はホームページ（https://machidalovefami.amebaownd.com/）に掲載しています。



休刊のお知らせ

地域情報誌「まちびと」は、地域活動へ関心を持つきっかけづくりを目的に発行してまいりましたが、このたび、本号（2021春号）をもちまして休刊させていただくこととなりました。今後、地域活動の情報につきましては、町田市ホームページ（トップページ＞暮らし＞コミュニティ）等をご覧頂ければ幸いです。

ご愛読頂きました読者の皆様、これまで紙面にご登場いただきました方々、取材、発行、配架に至るまで、多大なるお力添えを賜りました関係各位に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

発行者　町田市市民部市民協働推進課

町田薬師池公園四季彩の杜

ぼたん園・えびね苑　有料開園します

ぼたん園

約330種類・約1,700株のぼたんと、約60種類・約600株の芍薬（しゃくやく）が植栽され、赤・ピンク・白・黄など色鮮やかな大輪の花が咲き誇ります。百花繚乱するぼたんを是非ご観賞下さい。

期　間 ▶ 2021年4月15日～5月9日　午前８時30分～午後4時
入園料 ▶ 大人520円、中高生200円、小学生以下無料
所在地 ▶ 町田市野津田町2274-1

えびね苑

新緑の回廊を散策しながらえびねの群生を観賞し、春の訪れを楽しみませんか。

期　間 ▶ 2021年4月20日～5月5日
午前8時30分～午後4時
（入園は午後3時30分まで）
入園料 ▶ 大人310円、中高生100円、小学生以下無料
所在地 ▶ 町田市本町田3129-6

まちびとプレゼント

毎度ご愛読ありがとうございます。「まちびと」編集部から、アンケートにお答えいただいた読者の皆様の中から抽選でプレゼントを進呈します。ご記入いただいたご感想やご意見は今後の参考にさせていただきます。

1組2名様

A 三井住友海上文化財団 ときめくひととき 第904回
成田達輝ヴァイオリン・リサイタル鑑賞券

数々の難関コンクールで入賞し、脚光を浴びる成田達輝がアントニオ・ストラディヴァリ黄金期の「Tartini」（1711年製、宗次コレクションより貸与）で名曲「G線上のアリア」などを奏でます。町田市民ホールで6月27日（日）午後2時30分開演。

公演に関する問い合わせは町田市民ホール
☎042-728-4300

2組4名様

B 能楽師・井上貴覚さんから
第24回金春流座・SQUARE公演

今号「まちだ人」で紹介した能楽師・井上貴覚さんが同人の主催公演「座・SQUARE」にご招待。演目は井上さんがシテを舞う能「夕顔」のほか、能と狂言各1番。国立能楽堂（渋谷区千駄ヶ谷）で7月19日（月）午後6時開演。全席指定。

公演の問い合せは井上さん
☎042-799-7966（午前9時～午後9時）
yoshiaki1971222@yahoo.co.jp

各6名様

C 珈琲豆処 こげちゃ家から
カワセミブレンド 150g
けやきブレンド 150g
のいずれか（豆or粉選択可）

南成瀬にある自家焙煎のスペシャルティーコーヒー・旬の紅茶販売専門店。熱風焙煎機で煎りあげた、まろやかでやさしい数々のコーヒーの中から、地元町田をイメージしてブレンドしたカワセミブレンドとけやきブレンドをプレゼント（いずれか一つ）。

珈琲豆処 こげちゃ家
https://kogechaya.com/
※賞品と引き換える「当選通知書」の発送となります

10名様

D さかや栗原から
まちだサイダー3本セット

全国の地酒を扱うさかや栗原（南成瀬1-4-6／☎042-727-2655）。プレゼントの「まちだサイダー」は町田市産の花ゆずを使ったスッキリとして爽やかなサイダー。ラベルは町田市の非公認キャラ『まちだけ』とのコラボ。お酒と割ってもそのままでもおススメ。

さかや栗原
https://www.sakaya-kurihara.jp/
※賞品と引き換える「当選通知書」の発送となります

応募方法

下記応募フォームかハガキにて、①住所②氏名③年齢④希望のプレゼント⑤下記アンケートのお答えをご記入の上、まちびと編集部へご応募ください。応募締切：2021年4月30日（金）

アンケート

Q1. 今回の「まちびと」はいかがでしたか。
1. 良かった　2. 普通　3. 良くなかった

Q2.「まちびと」はどこでご覧になりましたか。
1. 中学校での配布を通じて　2. 市の公共施設　3. その他（　　）

Q3.　印象に残った記事を教えてください。
1. 特集「コロナ新時代を生きる」 2. まちだ人「井上貴覚さん」 3. 相原町陽田町会
4. 社会福祉法人 町田市社会福祉協議会　5. NPOコレクティブハウジング社
6. 一般財団法人 町田市地域活動サポートオフィス　7. まちださんぽ　8. ご当地美食探訪
9. 沢野ひとしの町田絵日記　10. まちスポ　11. てくてく昭和　12. マチ活 information

Q4. 今回の記事で参加やお出かけ等、実際に活用したくなった情報を教えてください。
（　　）

Q5. 今号の「まちびと」への感想やご意見を教えてください。
（　　）

応募先

応募フォーム
https://www.townnews.co.jp/machida-machibito.html
町田まちびと読者プレゼント　検索

ハガキ
〒225-0014 横浜市青葉区荏田西 2-1-3
株式会社タウンニュース社 まちびと編集部

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。ご記入いただいた個人情報は抽選・発送のために利用し、ご応募いただいた読者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはございません。ご記入いただいた内容は、編集に役立てるために個人の特定ができないよう資料化する場合もございます。ハガキやメールは当社にて一定期間保管のうえ、作業終了後は当社が責任をもって廃棄します。

まちびと
町田で輝く人に出会うコミュニティマガジン
2021 SPRING VOL.51
年4回発行　2021年3月15日発行　発行：町田市市民部市民協働推進課　〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22 町田市役所 2階　［電話］042-724-4362
企画・制作：株式会社クウンニュース社

FC町田ゼルビアの新たなる挑戦

THE BLUE PRIDE

対戦日程の詳細はこちら

2021.2.28 SUN › 12.5 SUN

ABEMA　EAGLE KENSO　odakyu　AQUA RESORT　TERADA　玉川大学 Tamagawa University　ICANSEI 管清工業株式会社　SVOLME